

### 伯耆町教育支援センター



小・中学校への不登校や不登校傾向にある児童生徒が通所し、学習やスポーツ活動などを行う施設として、伯耆町教育支援センター「えがお」が、平成24年6月1日、伯耆町民溝口体育館内に開所しました。

センターには、学習支援を行う指導員1名と、教育相談などにあたる相談員3名(交替)が勤務し、学校から準備された教材を使って学習したり、体育館でスポーツ活動を行ったりしています。

#### 教室の運営

- 開設日 学校の課業日に準じます。(祝日、長期休業中は休館します。)
- 時間 開所 9:00~16:30  
通所 10:00~15:00

#### ○主な活動

- ・朝読書
- ・個別学習(学校からのプリントなどを使い、個々のペースで学習)
- ・体験活動(スポーツ、料理、創作活動、栽培活動など)
- ・校外学習(必要に応じて計画実施。)

#### ○生活時間

10:00~11:00	朝の読書、朝の会、フリータイム
11:00~12:30	個別学習、体験活動
12:30~13:30	昼食(弁当)・休憩
13:30~14:30	個別学習、体験活動
14:30~15:00	帰りの会、放課

※個々の実態に合わせて活動します。

■伯耆町教育支援センター「えがお」 ☎62-1490  
〒689-4202 伯耆町長山275番地(伯耆町民溝口体育館内)



## いじめ・不登校・児童虐待など についての電話相談窓口

小・中学生の  
みなさんへ

ともだち 友達から「いじめ」をうけて、学校にいきたくない。家で、きつくしから  
がっこう 学校にいきたくない。家で、きつくしから  
いえ 家で、きつくしから  
れてつらいことがある。でも先生にはいえない…。だれに相談していい  
せんせい 先生にはいえない…。だれに相談していい  
そうだん だれに相談していい  
かわからない…。



もし、こんななやみがあったら、一人でなやまずに、私たちに  
ひとり わたし  
でんわ 電話をください。みなさんのお話をきいて、どうしたらいいか  
はなし  
いっしょ 一緒に考えます。相談内容の秘密は守ります。

受付時間 平日 9:30~16:30

電話 62-1490

保護者の  
みなさんへ

いじめについて悩んだとき、子育てについて悩んだとき、不登校で悩んだとき、身近で児童への虐待を見つけたときなどのための相談窓口です。相談員が、相談者のプライバシーにも配慮して対応いたしますので、お気軽に、ご相談ください。来所での相談もお受けしていますので、気軽にお立ち寄りください。

【問い合わせ先】教育委員会事務局 総務学事室 ☎62-0927

# ストップ！いじめ！ 家庭・地域で子どもを見守り育てよう！



近年、いじめを苦にした児童生徒の自殺が全国で相次いで発生し、大きな社会問題となつていす。児童生徒が自らの命を絶つということは、理由の如何を問わず、あつてはならないことです。国会では、「いじめ防止対策推進法」が可決され、この9月末から施行されます。この法律では、いじめインターネットを通じて行われるものを含む。この防止、いじめの早期発見及び対処について、地方公共団体や教育委員会、学校、教職員はもとより保護者の責務などが定められています。一方、児童虐待やいじめ、不登校といった問題の背景として、核家族化、少子化、地域とのつながりの希薄化などにより、親の子育てに対する負担感や不安感、育児に関する悩みや、親や子の孤立感などが指摘されています。伯耆町では、そうした問題や課題に对应していくため、平成24年6月に町民溝口体育館内に、伯耆町教育支援センター「えがお」を開所し、不登校児童生徒の学習支援と子育てに悩みを持つ保護者のみなさんからの相談窓口を設けています。

## 教育支援センターの 連携に関する協定の締結

7月10日、伯耆町教育委員会は、南部町教育委員会と、教育支援センターの連携に関する協定を締結しました。

この協定により、小中学校の不登校状態になった場合、在籍する町の教育支援センターだけでなく、両町の教育支援センターを気軽に利用することができるようになり、不登校児童生徒の選択肢が広がることになりました。不登校児童生徒を取り巻く環境が多様化している状況を踏まえ、学校復帰への指導や支援が一層充実したものとなるように、今後も両町の教育委員会は、連携して取り組みを進めていきます。



育支援センターの連携に関する協定の締結式